

医療とデザインの社会実装が、 ここから始まる

Street Medical Talks 2026

2026.10.31(土) 14:00～18:00 (開場 13:30)

医療×デザイン
修了発表会

会場開催 + オンライン配信

基調講演

次世代の人類の指標 トリプルспан

武部 貴則

SML 学長
大阪大学 名誉教授

iPS細胞から世界で初めて「ミニ肝臓」を創り出した再生医療研究者。31歳で国内史上最年少の教授に就任。デザインの力で医療を捉え直す「ストリートメディカル」を提唱。2024年イグ・ノーベル賞、2026年TIME100 Healthに選出。



6チームの企画発表

医師、看護師、デザイナー、企業人。立場の違う23名の社会人が半年間、「病院の外で、人の健康をどう支えるか」に挑み、6つの企画を初めて社会に向けて発表します。

当日の流れ

基調講演 > 6チームの企画発表・講評 > 修了生による実装事例の紹介 > ストリートメディカル賞表彰 > 交流セッション (会場限定)

ゲスト講評員



勝井 恵子

AMED 研究開発戦略推進部
社会共創推進課 課長



宿野部 武志

一般社団法人ビーベック
代表理事



町 亜星

フリーキャスター
(元日本テレビアナウンサー)



山本 尚毅

株式会社日本総合研究所
創発戦略センター

会場限定

発表者・講評員との交流セッション 17:00～18:00



ストリートメディカルラボ(SML)とは

「病をみずして、人をみる」。ストリートメディカルラボは、医療をデザインの力で捉え直す「ストリートメディカル」を学ぶ社会人スクールです。横浜市立大学YCU-CDCと連携し、学長・武部貴則のもと、医療者・デザイナー・企業人がともに学び、社会実装を目指します。本イベントは第7期の修了発表の場です。

〈会場〉

野村コンファレンスプラザ日本橋 5F

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-3
東京メトロ「三越前」駅 A9出口直結

〈参加〉

無料・Peatixで事前申込

現地80名・オンライン50名

<https://streetmedicaltalks2026.peatix.com>

視聴URLは申込後にご案内します

